

2025年度 東京都立大学大学院 人文科学研究科 入学試験 (9月入試)	
教室名(分野名)	心理学 教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	基礎知識
出題の意図	心理学の諸分野の基礎知識を問うために出題した。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 人文科学研究科 博士前期課程

9 月試験問題：専門分野基礎知識

心理学分野

- ・ 設問は、全部で 12 項目あります。そのうち 5 項目を選択して解答してください。
- ・ 項目ごとに、異なる解答用紙を用い、日本語で解答して下さい（固有名詞・略語などその限りではありません）。
- ・ 解答用紙の「授業科目」欄に、解答する項目番号を必ず記入して下さい。
- ・ 白紙で提出する場合も、解答用紙に項目番号と氏名を記入して提出して下さい。

受験番号

氏 名

この問題用紙を持ち帰ってはいけません

2025 年度（9 月）人文科学研究科 博士前期課程試験問題
心理学分野：専門分野基礎知識

以下の 12 項目のうち 5 項目を選択し、それぞれについて説明しなさい。項目ごとに異なる解答用紙を用い、解答用紙の「授業科目」欄に 101, 102, 103 ……などの項目記号を必ず記入すること。

- 101. 内発的注意と外発的注意
 - 102. 記憶の文脈一致効果
 - 103. 対応のある 2 群の比率差の検定
 - 104. 平行検査信頼性
 - 105. 主観的輪郭
 - 106. 生物学的運動知覚
 - 107. 自己反すう
 - 108. 期待違反法
 - 109. 記述的ステレオタイプと規範的ステレオタイプ
 - 110. プロセス・ロスとプロセス・ゲイン
 - 111. 精神科デイケア
 - 112. 高次脳機能障害
-

2025年度 東京都立大学大学院 人文科学研究科 入学試験 (9月入試)	
教室名(分野名)	心理学 教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	論文
出題の意図	心理学の諸分野の研究の基礎となる理論や概念を論理的に説明する能力を問うために出題した。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 人文科学研究科 博士前期課程

9 月試験問題：論文

心理学分野

- ・ 問題は 7 問あります。そのうち 3 問を選択して解答して下さい。
- ・ 項目ごとに、異なる解答用紙を用い、日本語で解答して下さい
(固有名詞・略語などその限りではありません)。
- ・ 解答用紙の「授業科目」欄に、解答する問題番号を必ず記入して下さい。
- ・ 白紙で提出する場合も、解答用紙に問題番号と氏名を記入して提出して下さい。

受験番号

氏 名

この問題用紙を持ち帰ってはいけません

2025 年度（9 月）人文科学研究科 博士前期課程試験問題
心理学分野：論文

以下の 7 問から 3 問を選択して答えなさい。問題ごとに異なる解答用紙を用い、解答用紙の「授業科目」欄に必ず問題番号を記すこと。

1. 心理臨床における多重関係の問題について、具体的な場面を示したうえで、そのリスクや対処方法について論じなさい。
2. フロイトの局所論と構造論について説明しなさい。またその考え方が現代の心理療法においてどのように役立つと考えられるか考察しなさい。
3. 感情が認知に与える影響について、具体例や研究例などに言及しながら説明しなさい。
4. 共分散構造について説明しなさい。
5. 1 次視覚野の神経解剖学的特徴と機能的特徴について論じなさい。
6. 子どもの発達を評価するアセスメントを 2 つ挙げ、それぞれの特徴と実践での応用可能性について論じなさい。
7. 自己高揚動機が関わる社会的行動を取り上げ、他の動機との関係を含めて論じなさい。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(9月入試)

教室名（分野名）	心理学・臨床心理学 教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	英語
出題の意図	(1) 心理学および臨床心理学の英文実証文献を読解するために必要な、専門知識や統計的知識を持っているか問うため、英語の語彙力および英文を論理的に把握する能力を問うため、出題した。 (2) 心理学および臨床心理学の英語文献を読解するために必要な専門知識と英文の文意をつかむ能力および語彙力を問うために出題した。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度（9 月入試）人文科学研究科

心理学分野・臨床心理学分野

博士前期課程 試験問題：英語

設問は 2 問あります

解答には、それぞれ別の解答用紙を用いてください

受験番号

氏 名

この問題用紙は持ち帰ってはいけません

(1) つぎの英文を読み、問 1 から問 5 に答えなさい。解答は心理総合英語解答用紙に記入すること。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(Doyen, S., Klein, O., Pichon, C-L., & Cleeremans, A. (2012). Behavioral Priming: It's all in the Mind, but Whose Mind? *PLoS ONE*, 7(1): e29081. doi:10.1371/journal.pone.0029081 より改変)

設問

問1 30 行目から 31 行目にかけて

とあるが、ここで述べられている double blind principle について説明しなさい。

問 2 本実験における要因の操作方法について、本文に則して説明しなさい。

問 3 47 行目から 48 行目にかけて

とあるが、本実験における実験参加者のこれらの点に関する認識はどうであったか。説明しなさい。

問 4 本研究において 112 行目から始まる下線部①のような考察が成立するのはなぜか。その理由を説明しなさい。

問 5 本研究において 115 行目から始まる下線部②のような考察が成立するのはなぜか。その理由を説明しなさい。

- (2) つぎの英文の要旨を、400 字以内の日本語でまとめなさい。解答はマス目のある解答用紙に記入すること。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典 Weir, K. (2021). Raising anti-racist children. *Monitor on Psychology*, 52(4), 52-
61. を一部改変.

下書き用紙

